

会員数(53・6現在)

逗子地区 111名

葉山地区 205名

大船地区 73名

計 389名

吟道月報

社団法人 日本詩吟学院 岳風会認可

神奈川 碩心会 発行

53・6月

第71号

発行者

根岸 晃 岳

編集

中村 愛 風

秋元 梁 風

私の詩吟の生い立ち

井 沢 潮 岳 (諏訪支部)

私は三十四年九月入会させて頂きました。入会の動機、そうです。ね、あまり良い動機ではないのです。が……、当時私は胃の具合が悪く退院后でした。

詩吟は腹に力を入れ、腹の底から声を出すから、体の為に良いとすすめられ入会しました。

会場は逗子郵便局前消防詰所で、寒い夜は、石油缶の火をかこんで六、七人で、声をはり上げ寒さにめげず吟じました。

そして間もなく、今のなぎさ会館にうつりました。私の好きな吟、そうです。ね、日本を愛す、日本讚

歌ですか……、どこへ行く旅行でも、入会の中、又、宴会の席でもよく吟じます。漢詩ではないので吟ずる私、聞いて下さる皆さんに良くわかると思うからでせうか……、時節柄皆様御元気で……



奥伝		俳句	
新体詩	書取り	自由吟	漢詩
奥の細道(平泉の節)(松尾芭蕉) 144	自然と人生(徳富蘆花) 150	律詩一題	黃鶴樓 (崔顥) 98
次(の)詩文を書き吟符をつける	山行同志に示す(草場佩川) 148	幾山河 (若山牧水) 154	田子の浦ゆ(山部赤人) 152
夏草や (芭蕉) 3/156	塚も動け (芭蕉) 3/157	和歌一首	偶成 (木戸孝元) 78
			沙婆歌 (日柳燕石) 92
			々わらかに (石川啄木) 152
			淡海の海 (柿本人麿) 4/157

師範		俳句	
新体詩	書取り	朝顔	これがまゐ
小詰なる古城のほとり(島崎藤村) 4/106	千曲川旅情の歌 (島崎藤村) 4/107	朝顔に (千代)	(一茶) 3/158
次(の)詩文を書き吟符をつける	本能寺 (頼山陽) 1/20	つるべとられてもらい水	

- ☆ 初伝以上の自由吟は、各々の課題吟以外のものを送ること。
- ☆ 審査日は九月十日(日)。
- ☆ 会場、逗子図書館三階ホール
- ☆ 細部については追って御通知します。

第四回 碩心会温習会終る

去る六月十一日開催され無事終了さる。定刻に初まり定刻に終了しな事、各役員の御骨折を深く感謝致します。

会の進行は二部に於て、松井岳洋先生の手により昇伝と昇役者の許証が受与される。

合唱コンクールには、二十二チームが出場し熱
 吟をきそふ。審査の結果左のチームが審査委
 員長より発表され、それぞれ優勝カップ、賞
 状、賞品を受ける。

優勝 堀内支部B班女子部

二位 堀内支部D班

三位 逗子A支部

四位 桜山A支部

五位 堀内支部C班

◆六位以下のチームの方々も来年は入賞でき
 る様はげんで稽古して下さい。

◆温習会の折忘れ物あり心当りの者は総務部
 長が保管(アモキキタビ)してありますので連絡
 下さい。品物は、黒レザールの眼鏡ケース(鎌倉市アホシ眼鏡店
 のネーム入り)

会員の移動

新入会員

元町支部 八坂 吉弥 兼山町堀内三九
 (電) 75-10042

山ノ根支部 関野恵次郎 逗子市山ノ根三六五
 (電) 75-10104

退会会員

119 一色支部C 鈴木 栄山

285 逗子 A 青木 只年

146 大船 B 後藤 幸子

堀内 D 伊藤 光子

45 一色 A 鈴木 雅風

46 一色 A 行谷 千山

66 一色 B 守谷 昇風

小栗 正子

移籍

行谷佳奈 滝ノ坂支部より一色Aへ

伊藤朗泉 一色Cより一色Aへ

黒田栄山 堀内支部より木ノ下支部へ